

なお、暫定最大稼働台数の式の意味は以下の通りである。説明のために式を変形している。

$$q_{hr,total,d} \times \frac{1}{\underbrace{E_{cgs,rated} \times 3.6 \times \frac{f_{cgs,hr,rated}}{f_{cgs,e,rated}}}_{\text{①}} \times \underbrace{f_{hopeMn}}_{\text{②}} \times \underbrace{T_{cgs,d}}_{\text{③}}}_{\text{④}}$$

- ①：定格発電出力 $E_{cgs,rated}$ を単位換算した上で、定格発電効率 $f_{cgs,hr,rated}$ で除して定格エネルギー消費量を求め、それに定格排熱効率 $f_{cgs,hr,rated}$ をかけることで、定格排熱量を求めている。
- ②：①に運転判定基準必要排熱比率 f_{hopeMn} をかけることで、必要最低限の排熱量で1時間運転を行った場合の排熱量[MJ/h]を表している。
- ③：②にCGSの稼働時間 $T_{cgs,d}$ をかけることで、必要最低限の排熱量で一日運転を続けたときのCGS1台の排熱量を表している。
- ④：CGS排熱系統の熱負荷 $q_{hr,total,d}$ を③で除すことで、必要最低限の排熱量であれば何台のCGSを動かす必要があるかを求めている。排熱負荷が少ない場合には、必要な運転台数が少なくなり、運転台数が減少する。